



日本遺産を世界へアピール

**JICA筑波センター外国人研修員が  
安積疏水関連施設を視察します**



ターゲット 6. a



ターゲット 17. 17

2023年7月21日  
郡山市文化スポーツ部  
国際政策課  
課長 石井 章浩  
TEL：924-3711

SDGs ターゲット 6.a 「開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する」

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公約、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

独立行政法人国際協力機構（JICA）筑波センターにおいて、稲作技術を学ぶ外国人研修員が、研修の一環として、本市及び猪苗代町の安積疏水関連施設等を視察します。

- 1 日時 7月28日(金) 午前8時45分～午後3時
- 2 行程 8:45 安積疏水土地改良区 → 10:00 郡山市園芸振興センター → 11:00 昼食（逢瀬公民館久保田分室） → 11:45 逢瀬いなか体験協議会 なかむらさんち（日本の農家との触れ合い） → 13:00 上戸頭首工 → 13:40 田子沼分水工 → 14:20 沼上発電所 ※交通事情等により時間が若干前後する場合があります。
- 3 参加者 外国人研修員 17名  
（参加者国籍 ガーナ、リベリア、シエラレオネ、東ティモール、ウガンダ、ザンビア、エチオピア、ベナン、ブルンジ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、ギニア）



▲前回の視察研修（十六橋水門、上戸頭首工）の様子（2022年7月）

＜安積疏水関連施設におけるJICA視察研修の受け入れについて＞

開発途上国において、灌漑施設の管理手法や農村開発は重要なテーマであり、日本に学びに来る研修員にとって、「世界かんがい施設遺産」にも登録されている安積疏水は、その背景や仕組みから自国の発展に寄与する有意義な研修素材であることから、本市では、国際貢献の観点から、2019年からJICA視察研修を積極的に受け入れており、今回で8回目となります。また、2023年7月上旬には、ウクライナ農業セクターによる多大な被害を受けた農業部門の復興を目的とした視察研修も行われました。

視察施設の一部は、2016年に認定された日本遺産ストーリー「未来を拓いた『一本の水路』」の構成文化財となっていることから、今後のインバウンド誘致による観光促進についても期待できるものとなっています。



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま